



鳩吹山



山頂からのながめ

すごい point

- ・ 標高313mの鳩吹山は、見晴らしがばつぐんだよ。
- ・ 年間を通して自然豊かな鳩吹山は、市内外からの登山客でにぎわっているよ。

◎鳩吹山ってどんな山？

可児市の西のほしにある鳩吹山は、高さが313mある、市内で2番目に高い山です。

今は、みんなが「鳩吹山」と呼んでいますが、昔は「天神山」や「土田山」とも呼ばれていました。鳩吹山は、チャートという硬い石でできた山です。約2億年前は海の底にありましたが、ながい年月をかけて今の高さになりました。



鳩吹山のいいところ

◎頂上からのながめが絶景！

頂上からは、可児のまちや名勝木曽川、そして遠くの白山連峰や御嶽山、日本アルプスの山々を一望することができます。30分ほどで気軽に登ることができる山ですが、頂上からの景色が美しく、登山の達成感が得られることが魅力です。

◎登山ルートが充実している！

鳩吹山には、大脇、カタクリ、真禅寺、西山、石原の5か所の登山口があります。

登山ルートによって距離や難易度が違うので、初心者からベテラン登山者まで多くの人を楽しめます。※大人の人と一緒に登りましょう。

◎自然が豊か！

年間を通して、自然豊かな鳩吹山ではたくさんの種類の植物を観察したり、バードウォッチングを楽しむこともできます。



鳩吹山山頂



初日の出



登山の様子



小淵ダム（久々利地区）



小淵ため池

すごい point

- ・日本で最初に完成した石積み式のダムだよ。

久々利には、小淵ダムという日本ではじめて完成したロックフィルダムがあります。ロックフィルダムとは、石を高く積み上げてつくったダムのことです。小淵ダムは、昭和24年（1949）から工事が始まり、昭和27年（1952）に完成しました。

当時、このつくり方は日本初の取り組みだったため、海外からたくさんの資料を取りよせて設計されました。

◎ダムがつくられた理由

では、なぜこのダムがつくられたのでしょうか？

可児川とその支流は、昔から大雨が降るとあふれて、畑や田んぼを水ぼつさせていました。家が流されて人が亡くなることもありました。

大雨による災害を防止するため、また雨が降らない時期の田んぼの水を確保するために、昭和30年（1955）までに可児郡全体で8か所の防災ため池がつけられました。

その中の1つが小淵ため池で、小淵ダムはため池の水をせき止めるためにつくられたのです。

◎ダムの大きさとみどころ

完成したダムの高さは18.37mで、6階建て建物と同じくらいの高さです。ダムにためておける水の量は55万1925m³で、25m プール約1300杯分にもなります。

現在、小淵ダムの周辺は公園として遊歩道などが整備され、散策コースとしてたくさんの人に親しまれています。

小淵ダムの底には、明治時代に天然の氷をつくっていた「氷場」のあとが残っています。ダムの水が少なくなる冬の時期には、その姿を見ることができます。



花フェスタ記念公園のバラ園

プリンセスホールみやび雅

すごい point

- ・バラへの愛は世界一！世界にほこれるバラ園だよ。
- ・年間を通して、いろいろなイベントでにぎわっているよ。

可児市せ た瀬田にある花フェスタ記念公園は、世界にほこるべき公園です。

この公園は、平成7年（1995）に花の博覧会「花フェスタ'95ぎふ」の会場として、岐阜県が整備を行い、平成8年4月にオープンした県営の施設しせつです。

花フェスタ記念公園は、1年を通じて季節の植物を観察することのできる「バラと花のテーマパーク」であり、園内にはたくさんの樹木や花が植えられています。

その敷地面積はナゴヤドーム17個分もあり、園内には屋外イベントホール「プリンセスホールみやび雅」や高さ45mの「花のタワー」もあります。

◎たくさんバラ

この公園には、2つのバラ園（「世界のバラ園」と「バラのテーマガーデン」）があり、約7000品種30000株かぶのバラが植えられています。この種類や株数の多さ、バラの美しさは、世界的に注目されています。

春から秋にかけてくり返し咲く「四季咲き」の品種や、野生のバラに近い品種のコレクションなど、多くの美しいバラを見ることができます。

平成17年（2005）の「愛・地球博」に関連して開催かいさいした「花フェスタ2005ぎふ」では、とても多くの来場者がありました。現在も、春と秋のバラまつりの期間はもちろん、キッチンカーグランプりや市民マラソンなどのイベントが開かれており、年間を通して多くの来場者でにぎわっています。



花トピアと花のタワー



イベントの様子

すごい point

- ・竹林に^{かこ}囲まれてリフレッシュ！
- ・荒れていた竹やぶが、^{ちいき}地域の人の力で昔と同じ景色をながめることができる^{すてき}素敵な遊歩道に、よみがえったんだ。

◎昔のようす

江戸時代、今渡には木曽川を渡る旅人でにぎわった渡し場がありました。

昭和2年（1927）に太田橋が完成すると、向こう岸との往来は^{おうらい}ずっと楽になりました。役目を終えた今渡の渡し場は使われなくなり、周辺には竹がしげるようになっていきました。



木曽川渡し場遊歩道

◎遊歩道の整備

平成19年（2007）、この竹やぶを整備して、市民の健康づくりやいこいの場所にしようと、「木曽川左岸遊歩道友の会」という地域のボランティア団体が立ち上がりました。たくさんの地域の人たちの協力と、地元企業^{おうえん}の応援もあり、木曽川渡し場遊歩道の整備が始まったのです。

おいしげっていた竹やぶは、ツタが木や竹にからみつき、竹が重なって倒れているなど、作業しにくく、整備するのに^{ひとくろ}一苦労だったそうです。

遊歩道の整備は現在も続いており、将来的には鳩吹山のふもとまでつながることを目指しているようです。

◎遊歩道を歩く

遊歩道を歩くと、さまざまな動物や植物に出会えたり、木曽川のすばらしい景色^{けしき}を見ることができます。遊歩道のコース内にある大昔の木が立ったまま化石になった「化石林」や、女の人の^{ゆうれい}幽霊が出たといわれる「夜泣き岩」は見学スポットとなっています。

竹林に^{かこ}囲まれた遊歩道は、歩くととても気持ちが良いので、ウォーキングコースとしてたくさんの人に親しまれています。



今渡の渡し場跡



ウォーキングの様子

すごい point

- ・日本五大名飯に選ばれた可児の郷土料理だよ。

可児には、「さよりめし」という郷土料理があります。

さよりめしは、私たちの住んでいる可児市をふくむ、ちゅうのう中濃・とうのう東濃地区で、ごちそうとして食べられていた炊きこみご飯です。秋の収穫を祝うときや、家でお祝いごとがあったときに特別につくるもので、ぜいたくな料理でした。



「可児ッテ」で販売されたさよりめし

◎どうして「さよりめし」って呼ぶの？

「さよりめし」には、「さより」という魚ではなく「さんま」が使われています。

「さより」と「さんま」は、あまり似ていませんが、どちらも「だつ」という細長くてとがったかたちをしている魚の仲間です。

海が近くにはない可児の人は、海の魚について細かな区別をせず、本当は「さんまめし」であっても「さよりめし」と呼んでいたようです。

◎生活の知恵が生んだ「さよりめし」

家に冷蔵庫がなかった時代、なまざかな生魚はすぐに腐ってしまうので、可児の人たちは新鮮なしんせんお刺身さしみを食べることができませんでした。海の魚は遠くからやって来る行商人から、ぎょうしょうにん干物ひものや塩漬しおづけにしたものを買っていました。さんまをご飯ごに炊きこむ「さよりめし」は、新鮮ではない魚をおいしく食べるための、可児の人たちの工夫でもあったのです。

◎五大名飯に選ばれろ

この「さよりめし」は、昭和14年(1939)に宮内省(現在の宮内庁)が選んだ「日本五大名飯」に、「ふかがわ深川めし(東京)」、「ちゅうしちうずめめし(島根)」、「さいたま忠七めし(埼玉)」、「おおさかかやくめし(大阪)」と並んで選ばれています。これは、国が選んだ元祖ご当地グルメともいえます。

現在、「さよりめし」を作る家庭は少なくなりましたが、市のイベントや道の駅「可児ッテ」において、秋～冬限定で再現されたものを食べることができます。

—可児のむかし話 「福さとキツネとサヨリめし」—

「可児のむかし話」に「福さとキツネとサヨリめし」というお話がのっています。これは、病気で寝こんでいた福さのばばさまに、ぜんだいじやま禅台寺山のキツネがのりうつって「さよりめし」を食べるといってお話です。キツネの助けを借りて、おいしい「さよりめし」をたくさん食べた福さのばばさまは、病気がなおって元気になりました。「さよりめし」はキツネも食べたくなるようなごちそうなのでした。



文化創造センター ala (アーラ)



主劇場・宇宙のホール

すごい point

- ・だれでも気軽に利用できる、^{げきじょう}劇場施設だよ。
- ・市民一人ひとりが主役！市民参加型の事業がたくさん行われているよ。

アーラ（可児市文化創造センター）は、建設計画や運営に市民の意見と参加を取り入れて平成14年（2002）にオープンした文化施設です。アーラは、人としてだれもが主役となる場所です。

アーラには、主劇場「^{げきじょう}宇宙のホール」と小劇場「^{にじ}虹のホール」の2つの劇場があり、音楽会や演劇、^{しきてん}式典などさまざまなイベントが催されています。可児市小学校音楽会もアーラで行われています。

専門的な設備と優秀なスタッフに支えられたアーラの劇場は、国の「^{とくべつしえんげきじょうおんがくどう}特別支援劇場音楽堂」に選ばれています。このような施設は、全国でも15か所だけなのでアーラは全国トップレベルの劇場であるといえるでしょう。

アーラには、劇場のほかにも、練習する部屋、会議する部屋、映画をみる部屋、展示する部屋、レストランなど、たくさんの部屋があり、いろいろな用途でだれでも利用できることが魅力です。

◎市民一人ひとりが主役

大きな劇場のあるまちは、たくさんあります。しかし、可児市のアーラが日本中のどの劇場施設よりもすごいところは、なんととっても市民とアーラ、そして文化・芸術との距離がとても近いところです。

一流の音楽家や歌手、落語家や俳優が公演するアーラですが、みなさんは客席に座ったことだけでなく、ステージに立ったこともあると思います。

市民が一流のアーティストと同じ舞台、同じ環境で活動することや、プロの俳優やスタッフと一緒に作品をつくりあげることでもできるアーラは、可児市が世界にほこるべき文化施設です。

市民ミュージカル
「君といた夏 ～スタンドバイミー可児～」



こども110番の家（広見地区）



こども110番の家（コンビニエンスストア）

すごい point

- ・日本全国にある「こども110番の家」は、可児市で最初に始まったんだよ。
- ・現在、可児市には全部で658か所のこども110番の家があるよ。

◎「こども110番の家」って何をするとこ？

「こども110番の家」とは、みなさんが登下校中や友達と遊んでいて、知らない人にあとをつけられたり声をかけられたりして、不安や危険を感じた場合に助けを求めることができる場所のことです。「こども110番の家」では、まずはみなさんを保護した後、すぐに警察と学校、お家へ連絡してくれます。

みなさんの通学路周辺の民家やお店などが、「こども110番の家」になっています。

◎全国で最初に可児市で始まる

この「こども110番の家」が設置されたのは、日本全国で可児市が最初でした。

平成8年（1996）3月に、今渡北小学校のPTAが中心になって始まった「こども110番の家」の活動は、みなさんの安全を守り犯罪を未然に防ぐ大切な活動として、全国各地に広がりました。

現在、こども110番の家は日本全国に約197万か所、可児市内には658か所あります（H29.11現在）。

可児市では、毎年、小学校区ごとに「こども110番の家マップ」を作成し配付することで、「こども110番の家」がどこにあるのかをわかるようにしています。



こども110番の家マップ



可児市子育て健康プラザ mano (マーノ)

すごい point

- ・新しい命が、お母さんのおなかに宿ったとき（マイナス10ヵ月）から、サポートするよ。
- ・様々な人が関わってみんなで子どもの育ちを見守るよ！
- ・子育てを担当するところが、1か所に集まった施設が可児駅前にはできたよ。

可児市では、様々な方法で子育て家庭や地域とつながって、元気な子はさらに元気に、心配がある場合は安心して子育てに向かえるように、個々によりそったサポートを行っています。

◎つなぐ子育て

子育てをするお父さんお母さんは、実は不安やなやみでいっぱいです。

そんなお父さんやお母さんが安心して子育てできるように、可児市では、赤ちゃん一人ひとりが生まれる前から、担当する保健師さんがいて相談にのってくれます。

また、成長の記録である母子健康手帳の情報が病院などで活用されたり、子育てに関するサービス情報をスマートフォンで見られる「かにっ子ナビ」を配信したりしています。



かにっ子ナビ

◎まなぶ子育て

可児市には、お父さんお母さんが子育ての大切さや知恵を学ぶ機会が、たくさんあります。

家庭教育学級や、アーラや地区センターで開かれる子育てに関する事業を通して、みなさんが大きくなる前から、お父さんお母さんは勉強しているのです。

◎かかわる子育て

みなさんが安全に生活しゆたかに成長することを、キッズクラブや地区センター、児童センターの活動などを通して地域のおじさんやおばさん、おにいさんやおねえさんたちが、力を合わせて見守っています。

「つなぐ・まなぶ・かかわる子育て」を可児市全体ですすめていくための中心施設として可児市子育て健康プラザ mano (マーノ) が開館し、子育て世代をサポートしていきます。